

# 令和元年度 決算状況をお知らせします

企画財政課 財政班  
☎37-1118

令和元年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が、9月の議会定例会で認定されました。

一般会計の歳入決算額は130億2,358万円、歳出決算額は113億9,045万円となり、歳入から歳出を差し引いた形式収支は16億3,313万円となりました。また、その差額から翌年度に繰り越すべき財源9億2,600万円を引いた実質収支は7億713万円の黒字決算となりました。

前年度と比較すると、歳入で約64億円の減少(▲32.9%)、歳出で約58億円の減少(▲34.0%)となりました。一昨年度に、役場新庁舎の完成をはじめ、さまざまな復興事業が完了したことが主な理由になります。

## 一般会計

**歳入 (入ったお金)**  
**130 億 2,358 万円**

繰入金 25.0% 32億5,086万円	自主財源 52.4%
繰越金 13.6% 17億7,235万円	
町税 10.3% 13億3,585万円	
その他 3.5% 4億6,160万円	依存財源 47.6%
地方交付税 26.5% 34億6,085万円	
国庫支出金 10.6% 13億7,631万円	
県支出金 3.2% 4億1,446万円 その他 7.3% 9億5,130万円	

### 歳入 自主財源その他

財産収入	2,789万円
分担金および負担金	3,340万円
使用料および手数料	1億3,705万円
諸収入	1億7,755万円
寄付金	8,571万円

### 歳入 依存財源その他

町債	5億9,248万円
地方譲与税および交付金	3億5,882万円

**歳出 (使ったお金)**  
【目的別】  
**113 億 9,045 万円**

総務費 22.3% 25億4,081万円
土木費 22.1% 25億1,979万円
農林水産業費 15.4% 17億5,475万円
民生費 13.8% 15億7,548万円
教育費 10.1% 11億5,102万円
災害復旧費 1.8% 2億158万円
その他 14.5% 16億4,702万円

### 歳出 その他

議会費	9,397万円
衛生費	3億8,552万円
労働費	1,539万円
商工費	2億6,955万円
消防費	3億886万円
公債費	5億1,923万円
諸支出金	5,450万円

### 用語説明

**町税**／皆さんが町に納めた税金  
**地方交付税**／全国一律の行政サービスが受けられるように、国が一定基準により町に交付するお金

**地方譲与税および交付金**／国・県が徴収した税金の中から、町に分配されたお金

**国・県支出金**／特定の目的のために、国や県から交付されたお金

**町債**／町の借金のことで、大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金

**分担金および負担金**／特定の利益を受けた方から負担していただいたお金

**使用料および手数料**／皆さんが町の施設を使用したり、住民票などの交付に対して支払ったりしたお金

**財産収入**／町の持つ財産を運用したり売ったりして得たお金

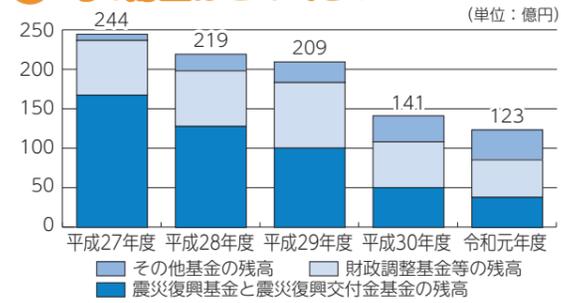
**繰入金**／各種基金の取り崩しによって繰り入れたお金

**諸収入**／雑入など、そのほかのさまざまな収入

**自主財源**／町税、使用料など町が自主的に得られる財源

**依存財源**／地方交付税、国・県支出金、町債など国や県の基準によって交付される財源

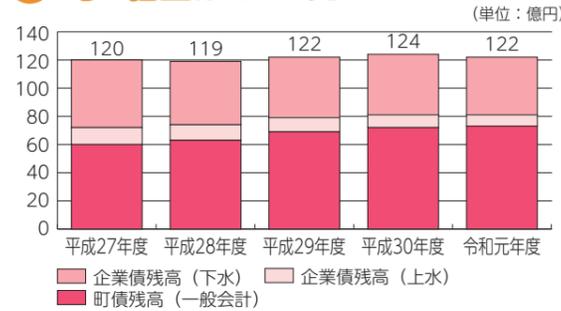
### 3 町の貯金はどのくらい?



#### 基金とは

町の貯金のことで、災害などの緊急時に備える資金や複数の年度にわたって行う事業の資金を一旦貯めておくために設けられているものです。  
 財政調整基金については、令和元年度決算では約47億円の残高となりますが、このうち約18億円については、復興・創生事業に関する国・県からの補助金などにより一時的に増加したものであり、今後、段階的に精算が行われる見込みです。町の裁量で自由に使える貯金額は、約29億円となります。

### 4 町の借金はどのくらい?



令和元年度末の町の借金は122億円でした。  
 一般会計では、令和元年度に発生した台風19号の災害復旧に関する町債の発行に加え、健全な財政運営を続け、過疎地域から脱却するため、過疎債などの国の手厚い財政支援を積極的に活用していることから、残高が増加していますが、企業会計を加えた全体では減少しています。  
 ※都道府県貸付金を含んでいます。

### 5 どうして町は借金をするの?

町の借金(町債)には次の2つの役割があります。

- ①現在の町民と将来の町民の負担を公平にする役割
- ②毎年の財源を平均する役割

公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄うと、その他の仕事ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の町民だけではなく、将来の町民も利用しますので、負担の公平性を図る観点から、町債を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。

### 6 町の財政は健全なの?

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、令和元年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。

本町は、財政の健全を示す5つの指標において、財政上のイエローカードを示す早期健全化基準を大きく下回っており、財政状況が健全であることがわかります。

#### [5つの指標で見る本町の財政の健全性]

財政指標	早期健全化基準	財政再建基準	本町算定結果(注3)		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度
実質赤字比率	15.0%	20.0%	-	-	-
一般会計での赤字の比率					
連結実質赤字比率	20.0%	30.0%	-	-	-
一般会計など(注1)と公営企業会計(注2)を合わせた全会計での赤字の比率					
実質公債費比率	25.0%	35.0%	12.1	10.6	9.9
一般会計の借入返済額の比率 (家計に例えると、1年間のローン返済額が臨時的な収入を除く年収に占める割合。ローンが家計をどれだけ圧迫しているかを示す)					
将来負担比率	350.0%	-	-	-	-
一般会計が将来負担すべき実質的な負債残高の比率(家計に例えると、借金総額が年収の何倍になるかを表す)					
資金不足比率	20.0%	-	-	-	-
各公営企業会計(注2)の事業規模に対する資金不足額の比率					

注1 「一般会計など」とは、一般会計、国民健康保険事業および後期高齢者医療、介護保険事業の4会計を合算したもの

注2 「公営企業会計」とは、水道事業、下水道事業の2会計を合算したもの

注3 上記の「-」は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率が「なし」のため

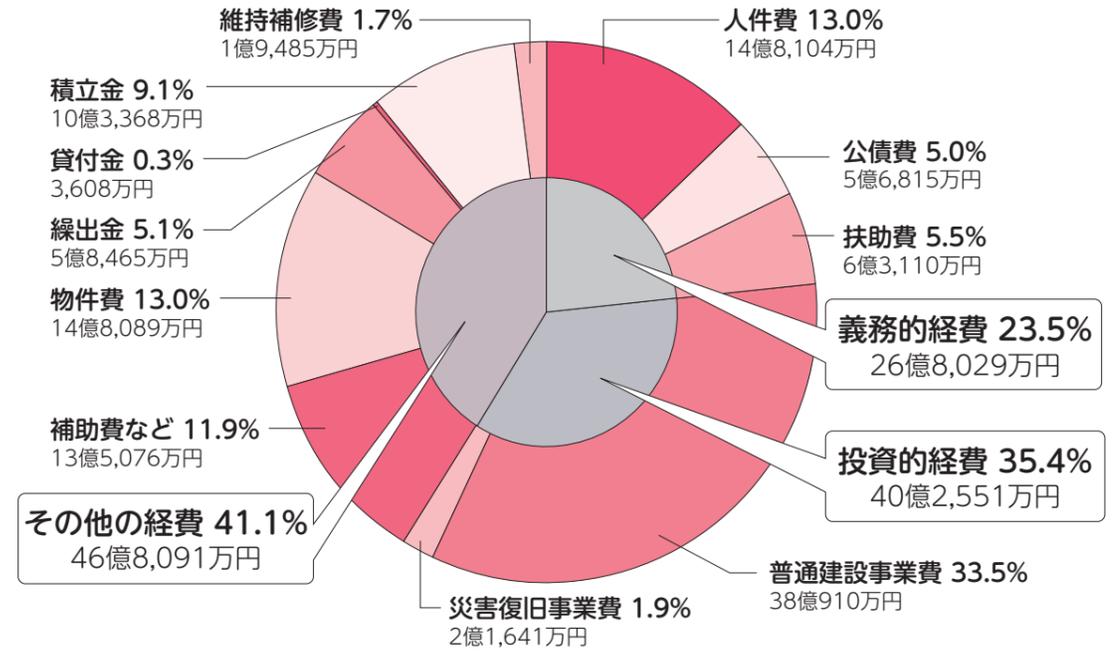
### 1 どんなことにお金を使っているの?

5ページに示した歳出のグラフは、令和元年度のお金の使い道を「目的別」に示したものです。

お金の使い道を表す方法には、予算や決算のように行政目的別に分けて“どのような目的で使ったのか”という「目的別」と、人件費や扶助費のように“どのような用途に使ったのか”という「性質別」の2通りがあります。同じものについて違う見方をする事で、どんなことに力を注いだのかが分かります。

※地方財政状況調査により分析した数値を使用しているため、純決算額とは金額が異なります。

#### 歳出(性質別)



### 2 お金の使い方を町民1人当たりで見ると939,419円を支出しています

議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費
議会活動のために使うお金	行政運営や、庁舎や財産の維持管理に使うお金	子どもや高齢者、障害のある方などの福祉のために使うお金	町民の健康増進やゴミ・し尿処理などに使うお金	雇用の促進や労働者のための施設管理などに使うお金	農業や林業、水産業の振興のために使うお金	商工・観光業の振興のために使うお金
7,750円	209,552円	129,937円	31,796円	1,269円	144,721円	22,231円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	
道路、公園、公営住宅などの整備・維持管理にかかるお金	広域消防、消防団、自主防災などに使うお金	小・中学校、幼稚園、社会教育施設の整備・内容充実に使うお金	災害によって生じた被害の復旧にかかるお金	借り入れた町債の元利を返済するためのお金	どの科目にも目的が該当しない科目のお金(災害援護資金貸付金)	
207,817円	25,473円	94,930円	16,625円	42,823円	4,495円	

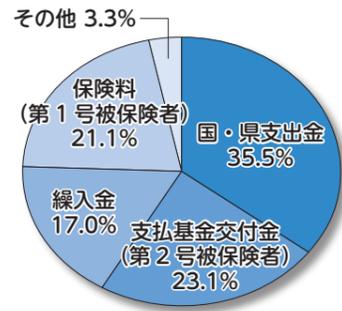
※人口は、令和2年3月31日現在の12,125人で計算しています

### 特別会計 介護保険事業特別会計

〔第1号被保険者数(65歳以上) 4,905人〕  
〔要介護・要支援認定者数 983人〕 令和2年3月31日現在

#### 歳入 14億6,639万円

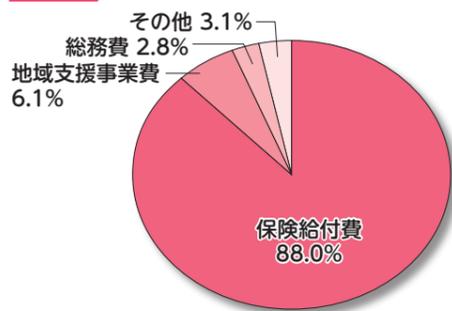
(単位:万円・%)



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
国・県支出金	52,102	49,989	2,113	4.2
支払基金交付金(第2号被保険者)	33,836	32,457	1,379	4.2
繰入金	24,938	23,792	1,146	4.8
保険料(第1号被保険者)	30,926	31,395	△469	△1.5
その他	4,837	2,790	2,047	73.4
合計	146,639	140,423	6,216	4.4

#### 歳出 13億5,585万円

(単位:万円・%)

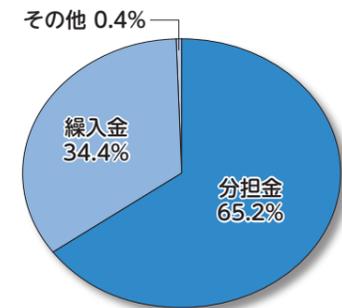


区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
保険給付費	119,364	116,563	2,801	2.4
地域支援事業費	8,257	7,539	718	9.5
総務費	3,793	3,674	119	3.2
その他	4,171	3,751	420	11.2
合計	135,585	131,527	4,058	3.1

### 特別会計 巨理地域介護認定審査会特別会計(※)

#### 歳入 570万円

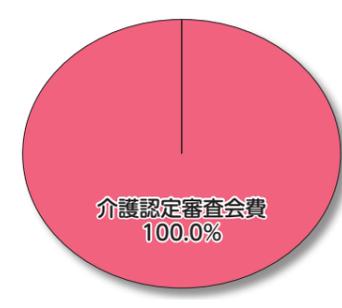
(単位:万円・%)



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
分担金	372	—	372	皆増
繰入金	196	—	196	皆増
県支出金	2	—	2	皆増
合計	570	—	570	皆増

#### 歳出 570万円

(単位:万円・%)



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
介護認定審査会費	570	—	570	皆増
合計	570	—	570	皆増

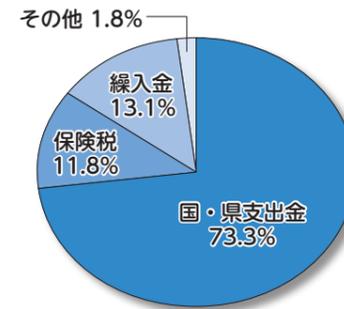
※介護保険制度における要支援、要介護認定事務を行うため、巨理・山元両町で「巨理地域介護認定審査会」を共同で設置して運営している会計です。  
両町で4年毎に事務局を担当し、令和元年度から令和4年度までは、本町が事務局となります。

### 特別会計 国民健康保険事業特別会計

〔年間平均被保険者数3,223人、世帯数1,987世帯〕 令和2年3月31日現在

(単位:万円・%)

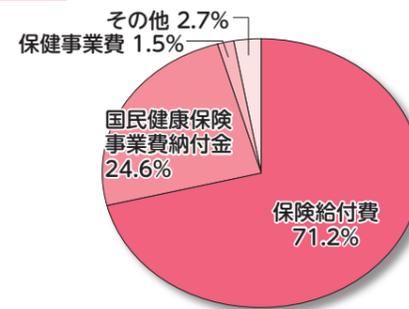
#### 歳入 18億654万円



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
国・県支出金	132,496	140,032	△7,536	△5.4
保険税	21,403	22,868	△1,465	△6.4
繰入金	23,692	22,909	783	3.4
その他	3,063	5,521	△2,458	△44.5
合計	180,654	191,330	△10,676	△5.6

#### 歳出 17億3,715万円

(単位:万円・%)



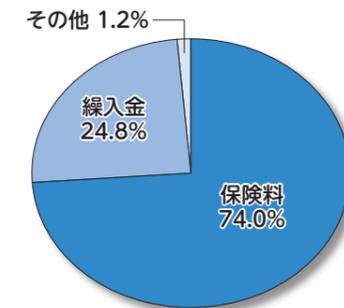
区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
保険給付費	123,688	130,235	△6,547	△5.0
国民健康保険事業費納付金	42,656	45,302	△2,646	△5.8
保健事業費	2,643	2,674	△31	△1.1
その他	4,728	8,066	△3,338	△41.4
合計	173,715	186,277	△12,562	△6.7

### 特別会計 後期高齢者医療特別会計

〔年間平均被保険者数2,528人〕 令和2年3月31日現在

(単位:万円・%)

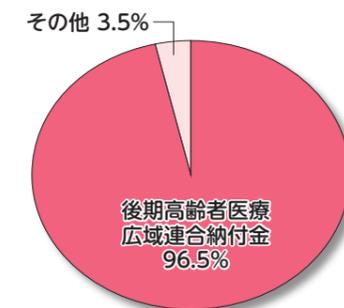
#### 歳入 1億7,016万円



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
保険料	12,594	11,523	1,071	9.3
繰入金	4,213	4,626	△413	△8.9
その他	209	176	33	18.8
合計	17,016	16,325	691	4.2

#### 歳出 1億6,762万円

(単位:万円・%)



区分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
後期高齢者医療広域連合納付金	16,171	15,443	728	4.7
その他	591	688	△97	△14.1
合計	16,762	16,131	631	3.9

## 企業会計 下水道事業会計

### 損益計算書

[1年間の経営成績を示すもの]  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：万円/消費税抜き)

費用科目	金額	収益科目	金額
営業費用 (処理場や管渠維持費、 固定資産除却費等)	42,415	営業収益 (使用料等)	13,492
営業外費用 (長期借入金利息・ 繰延勘定償却)	6,977	営業外収益 (他会計補助金・ 長期前受金戻入)	47,229
特別損失 (災害による損失等)	244	特別利益	6
当期純利益	11,091		
合計	60,727	合計	60,727

※東日本大震災で生じた多大な純損失により、剰余金で賄えない分の損失を未処理欠損金として計上しています。なお、未処理欠損金を減少させるには純利益を生じさせる必要があります。

### 貸借対照表

[年度末における事業財産の状態を示すもの]  
(令和2年3月31日現在)

(単位：万円/消費税抜き)

資産科目	金額	負債・資本科目	金額
固定資産 (下水道管、機械設備)	901,881	固定負債 (企業債、修繕引当金) (うち建設改良等の財源 に充てるための企業債)	362,823 (348,916)
流動資産 (現金預金、未収金)	36,028	流動負債 (企業債・未払金) (うち建設改良等の財源 に充てるための企業債)	53,349 (46,560)
繰延勘定	0	繰延収益 (長期前受金)	527,378
		資本金	79,185
		剰余金 (うち未処理欠損金)※	△84,826 (△84,826)
合計	937,909	合計	937,909

### 令和元年度下水道事業会計のあらまし

項目	令和元年度	平成30年度	対前年度	備考
処理区域内人口(外国人含む) (人)	7,310	7,311	△1	人口減少に伴い、昨年度と比較すると減少しています。
水洗化人口 (人)	7,225	7,193	32	下水道使用者の増加に伴い、昨年度と比較すると増加しています。
水洗化率 【水洗化人口÷処理区域内人口】 (%)	98.84	98.39	0.45	水洗化人口の増加に伴い、昨年度と比較すると増加しています。
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	699,283	696,265	3,018	処理水量のうち下水道使用料算定の対象となる水量です。水洗化人口の増加に伴い、昨年度と比較すると増加しています。
企業債元金残高 (万円)	412,341	425,122	△12,781	借入金の残高です。返済により昨年度と比較すると減少しています。

## 山元町ふるさと寄付金 令和元年度実績

町では、ふるさと「山元町」への思いやまちづくりへの参加意識を持つ皆さんから「山元町ふるさと寄付金」を募り、寄付をいただいた方々の希望に応じて、子育て支援や観光振興、学校教育や生涯学習など、さまざまな事業に活用させていただいております。

寄付金の使途	件数	寄付金額(円)
震災復興関連	915	12,708,000
子育て支援、高齢者福祉	478	6,992,000
農業、水産業、商工業、観光振興	158	2,133,000
学校教育、生涯学習、文化財保護の推進	153	2,113,000
道路・住宅・公共交通の整備	35	485,000
特に指定しない	4,150	54,532,000
合計	5,889	78,963,000



▲寄付返礼品一番人気の  
シャインマスカット

☎ 企画財政課 財政班 ☎ 37-1118

## 企業会計 水道事業会計

### 損益計算書

[1年間の経営成績を示すもの]  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：万円/消費税抜き)

費用科目	金額	収益科目	金額
営業費用 (仙南・仙塩広域水道 受水費等)	34,873	営業収益 (給水収益・負担金)	34,490
営業外費用 (長期借入金利息等)	1,568	営業外収益 (他会計補助金・長期 前受金戻入)	8,566
特別損失 (災害による損失等)	63	特別利益	8
当期純利益	6,560		
合計	43,064	合計	43,064

### 貸借対照表

[年度末における事業財産の状態を示すもの]  
(令和2年3月31日現在)

(単位：万円/消費税抜き)

資産科目	金額	負債・資本科目	金額
固定資産 (水道管、機械設備)	257,178	固定負債 (企業債、修繕引当金) (うち建設改良等の財源 に充てるための企業債)	76,815 (69,703)
流動資産 (現金預金、未収金)	24,515	流動負債 (企業債・未払金) (うち建設改良等の財源 に充てるための企業債)	14,722 (7,771)
繰延勘定	0	繰延収益 (長期前受金)	95,041
		資本金	40,761
		剰余金 (うち当年度未処分利益剰余金)	54,354 (52,492)
合計	281,693	合計	281,693

### 令和元年度水道事業会計のあらまし

項目	令和元年度	平成30年度	対前年度	備考
給水区域内人口(外国人含む) (人)	12,125	12,254	△129	人口減少に伴い、昨年度と比較すると減少しています。
給水人口 (人)	11,997	12,042	△45	人口減少に伴い、昨年度と比較すると減少しています。
給水普及率 【給水人口÷給水区域内人口】 (%)	98.94	98.27	0.67	給水区域内人口および給水人口は減少しましたが、給水普及率は昨年度と比較すると増加しています。
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	1,236,667	1,237,167	△500	配水量のうち水道料金算定の対象となる水量です。人口減少に伴い、昨年度と比較すると減少しています。
企業債元金残高 (万円)	85,730	93,442	△7,712	借入金の残高です。返済により昨年度と比較すると減少しています。

### 用語説明

**長期借入金利息等**／水道管などの資産を得るために借りた借金(企業債)の利息並びに企業債発行などの手数料および取扱諸費

**災害による損失等**／東日本大震災の影響により発生した臨時的な費用

**当期純利益**／1年間の経営でどれだけ利益を出したのかを示すもの

**固定資産**／資産の分類における流動資産に対する概念、経営活動のために長期間にわたって利用または所有する資産

**建設改良等の財源に充てるための企業債**／主に水道管などの資産を得るために借りた借入金で、1年以内に返済期限が到来するものを流動負債に、1年を超えて返済期限が到来するものを固定負債に分類

**長期前受金**／建設改良等の資金となる国庫補助金および工事負担金など